

平成30年度強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)プログラム

(1日目)

9:00～ 受付

9:20～ インフォメーション

時間	講義名	内容	時間数	担当講師(案)
9:30～10:00	プロローグ「強度行動障害のある人についての基本的な理解」 強度行動障害とは①	強度行動障害とは:本書の守備範囲	0.5	南高愛隣会 佐竹
		行動障害のある人への支援のこれまで		
		行動障害のある人が困っていること		
		行動障害への挑戦の意義と必要性		
10:00～11:00	支える仕組み「制度理解のヒント」 強度行動障害と制度 「障害者虐待、身体拘束、行動制限の防止は支援の向上から」 虐待防止と身体拘束	行動障害のある人を支える制度	0.5	県障害福祉課
		障害者虐待防止法とは 行動障害と虐待	0.5	県障害福祉課
11:10～12:10	医療と一緒に「福祉と医療の連携」 強度行動障害と医療	強度行動障害と精神科の診断	1	調整中
		強度行動障害と医療的アプローチ		
昼食休憩				
13:00～14:00	わかりにくいんです「伝わりにくさを体験しよう」 固有のコミュニケーション(1)	コミュニケーションの理解と表出	1	南高愛隣会 野中
		「意味のわからない言葉での支持」 「視覚と聴覚で違う情報」 「わかりにくい提示」		
		グループ討議/まとめ		
14:00～15:00	私たちが困っていること「感覚の違いを体験しよう」 行動障害の背景にあるもの(1)	感覚・知覚の特異性と障害特性	1	南高愛隣会 野中
		「作業(視覚的な手がかりがない場合とある場合)」		
		「作業(軍手をはめて)」 「騒がしい環境での聞き取り」 「狭い視野での活動」		
15:10～15:40	みんなでやろうよ「支援のプロセスとチームプレイの大切さ」 支援の基本的な枠組みと記録	支援の基本的な枠組み	0.5	南高愛隣会 佐竹
		サービス等利用計画について—支援の基本的プロセス—		
		個別支援計画と支援手順書について 記録と情報共有		
15:40～16:10	お互いに共有しよう～記録と情報共有～	演習「記録と情報共有」	0.5	南高愛隣会 佐竹
16:20～17:20	ひとりで悩まないで「支援者ケアの大切さ」	支援者ケアの大切さ	1※	南高愛隣会 甲斐

(2日目)

9:00～ 受付

時間	講義名	内容	時間数	担当講師(案)
9:15～10:15	私たちのことを知ってほしい「強度行動障害に関する障害について」強度行動障害とは②	自閉症スペクトラム障害について 知的障害/精神障害について	1	長崎大学 岩永竜一郎
10:15～11:15	僕らと世界のつながり方「環境を整える事の大切さ」構造化	支援に必要な環境整備・環境調整	1	長崎大学 岩永竜一郎
		構造化の基本と手法		
11:15～12:15	知ることから始めよう「根拠をもって支援する」 私たちの行動のわけ ～行動の生じる理由と対応を知る～	アセスメントの大切さ/アセスメントの具体的な方法	1	長崎大学 岩永竜一郎
		行動の理解/行動障害への対応のヒント		
昼食休憩				
13:00～14:30	やりやすくする「整えられた環境での活動」 固有のコミュニケーション(2)	様々なコミュニケーション方法 「本人に伝わりやすい環境と活動」	1.5	南高愛隣会 西村
14:30～16:00	本当の理由を考えよう「氷山モデルで考える」 行動障害の背景にあるもの(2)	行動の理解	1.5	南高愛隣会 西村
		行動障害への対応のヒント グループ討議/まとめ		
16:10～17:10	支援の現場から「事例紹介」 実践報告	児童期における支援の実際	0.5	事業所等
		成人期における支援の実際	0.5	事業所等
17:10～17:20	インフォメーション			

平成30年度強度行動障害支援者養成研修(実践研修)プログラム

1日目

9:00～ 受付

9:20～ インフォメーション

	講義名	内容	時間数	担当講師(案)
9:30～11:00	「行動障害のある人の暮らしを支えるために」強度行動障害支援の原則	地域で行動障害の人を支えるために	2	南高愛隣会 佐竹
		地域で支えるためのチームアプローチ		
11:10～11:40	「家族の想い」行動障害のある人の生活と支援の実際(2)	家族の気持ち	0.5	長崎県自閉症協会 川下昭子
11:40～12:30	昼食休憩			
12:30～14:30	「適切な支援を組み立てる(予防モデル)―行動のアセスメント―」 障害特性とアセスメント(1)	自閉症の行動特性シートの説明(障害特性の理解)	2	南高愛隣会 田中
		自閉症の行動特性シートの記入(障害特性に基づくアセスメント)		
		行動特性のもとになる認知特性シートの説明・記入(行動の意味を理解する)		
14:30～16:30	「適切な支援を組み立てる(予防モデル)―支援計画シートの作成―」 構造化の考え方と方法(1)	本人の特性を活かした支援を組み立てる(強みや好みを活かす視点)	2	南高愛隣会 田中
		必要な配慮(構造化)を考える(構造化の考え方)		
		構造化を活用した支援計画シートの作成(構造化の方法)		

2日目

9:00～ 受付

	講義名	内容	時間数	担当講師(案)
9:30～11:00	「行動上の課題に対応する(行動障害対応モデル)―記録とアセスメント―」 障害特性とアセスメント(2)	氷山モデルの作成(障害特性の理解)(障害特性に基づくアセスメント)	0.5 ※「行動上の課題に対応する(行動障害対応モデル)―支援手順書の作成―」構造化の考え方と方法(2)と合わせて1.5時間	社会福祉法人 はる 福島龍三郎
		行動の前後関係から考える(行動の意味を理解する)		
9:30～11:00	「行動上の課題に対応する(行動障害対応モデル)―記録とアセスメント―」 記録の収集と分析	行動記録の説明	1	社会福祉法人 はる 福島龍三郎
		行動記録の整理と分析		
		行動記録に基づく再アセスメントと手順書の修正		
11:10～12:40	「行動上の課題に対応する(行動障害対応モデル)―支援手順書の作成―」 構造化の考え方と方法(2)	本人の特性を活かした支援を組み立てる(強みや好みを活かす視点)	1.5	社会福祉法人 はる 福島龍三郎
		必要な配慮(構造化)を考える(構造化の考え方)		
		構造化を活用した支援手順書の作成(構造化の方法)		
12:40～13:30	昼食休憩			
13:30～15:00	「行動障害のある人の生活と支援」 行動障害のある人の生活と支援の実際(1)	日中活動(生活介護など)における支援の実際	0.5	他法人事業所
		暮らしの場(家庭やグループホームや施設など)における支援の実際	0.5	他法人事業所
		外出場面における支援	0.5	他法人事業所
15:10～16:10	「危機対応と虐待防止」 危機対応と虐待防止	危機対応について	1	南高愛隣会 甲斐
		虐待・拘束を生まない取り組み・環境		

16:10～16:20 インフォメーション